

多くの人に支えられた2年間

第5期生 森本 孝平

小野ゼミでは、非常に多くのことを学ばせて頂きました。この2年間、再開ゼミのゼミ長として「自ら課題を発見して解く姿勢」を大切に、ゼミ活動に全力で取り組んできました。僕は、ゼミが単に「学問をする場」ではなく、「社会に出るまでに身に付けておくべきスキルや姿勢を学ぶことができる場」、つまり、ゼミが「それぞれの夢を実現するための基盤をつくる環境」となることを、目標としてきました。正直、その目標が達成できたかどうかは、まだわかりません。各々が社会に出て、ゼミで学んできたことが活きていると実感して初めて、目標は達成されたと言えるでしょう。

この2年間のゼミ生活は決して順風満帆と言えるものではなかったと思います。個性の強い5期生を、一つの価値観で繋ぎとめることは難しく、自分自身もリーダーとして反省すべき点が多々ありました。しかし、ゼミをやっていて良かったと思えることが2点あります。

1点目は、「挑戦できたこと」です。3年生のときから自分たちでゼミを運営してきたため、自由にやらせていただけたことが多かったのではないかと思います。数々の失敗も経験しましたが、その失敗からは学ぶものが必ずありました。今後に生かすことができる気づきを得ることができたという点で、挑戦できたことは非常に有意義でした。

2点目は、「多くの人に支えてもらったこと」です。ゼミについて熱く議論を交わした同期には、本当にお世話になりました。また、OBの方々にはゼミ再開当初からケースをつくって頂いたり、頻繁にゼミに顔を出していただいたりと非常にお世話になりました。私たちも、頼られるOBとなれるよう、精進していきたいと思います。そして、後輩たちにもそういった卒業してからもゼミを大切にすることを継いでいってほしいと思います。末筆になりましたが、小野先生には、本当にお世話になりました。先生に一番

近い立場でご指導頂けたことは、非常に貴重な機会でありました。心から御礼を申し上げます。



人生初の胸上げにテンション最高潮の著者

このように、小野ゼミで活動をしていく中で、2年間、多くの人に支えられ、ゼミ長の職務を全うすることができました。これからも支えて下さった全ての人に感謝をしながら、精進していきたいです。